

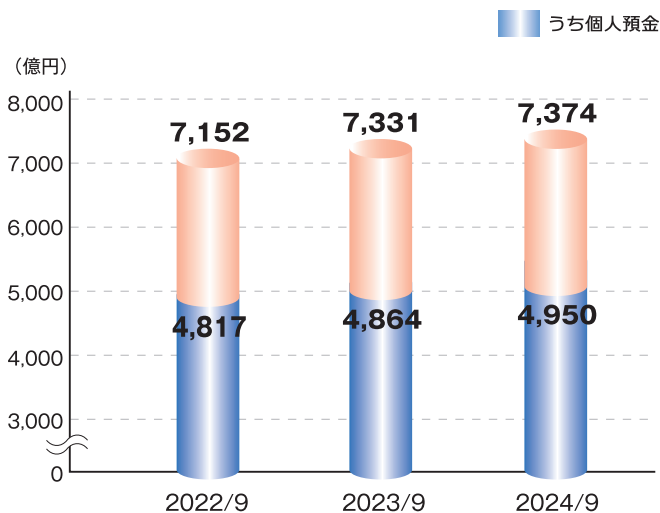
2 業績ハイライト（単体）

2024年度 中間期決算概要

■ 預金残高

～年間増加率0.5%～

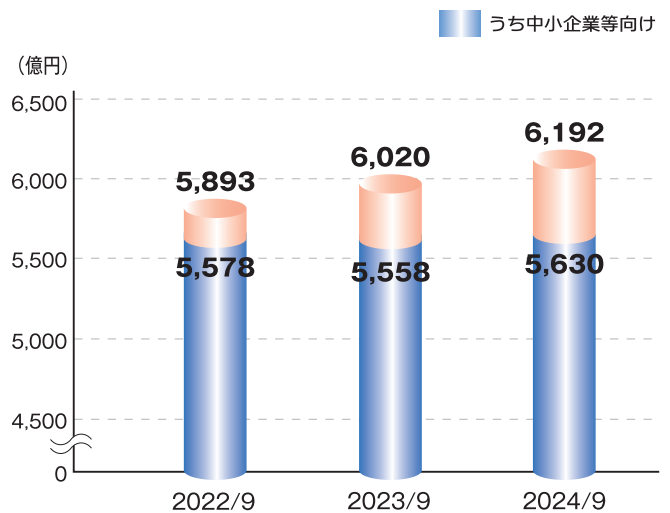
店頭・店周営業の着実な実践によって、個々のニーズやライフステージに応じた商品・サービスの提供に努めたこと等により、預金残高は前年同期末比42億円0.5%増加の7,374億円となりました。



■ 貸出金残高

～年間増加率2.8%～

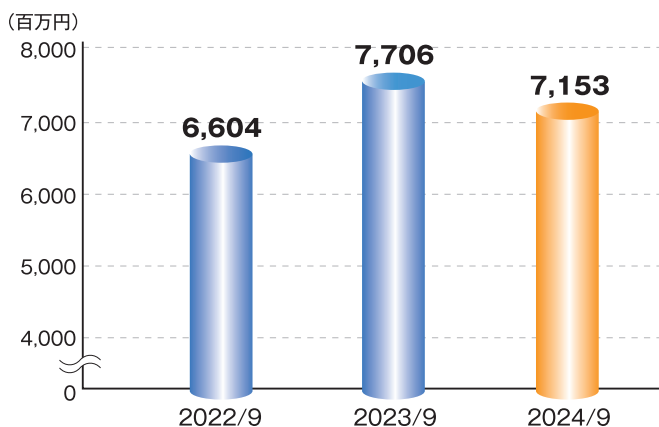
定期的な顧客訪問の徹底によってお客様の経営課題解決の支援等に積極的に取り組むなど、金融仲介機能の発揮に努めたことにより、貸出金残高は前年同期末比172億円2.8%増加の6,192億円となりました。



■ 経常収益

～役務取引等収益 2年連続増加～

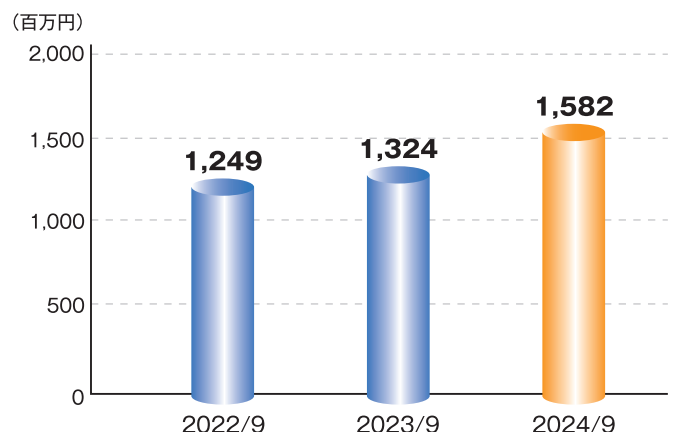
貸出金利息、役務取引等収益が増加するなど本業が堅調に推移したものの、株式等売却益の減少等により、経常収益は前年同期比5億52百万円7.1%減収の71億53百万円となりました。



■ 中間純利益

～4年連続の増益～

本業が堅調に推移したほか、与信費用の減少等もあり、中間純利益は前年同期比2億57百万円19.4%増益の15億82百万円となりました。



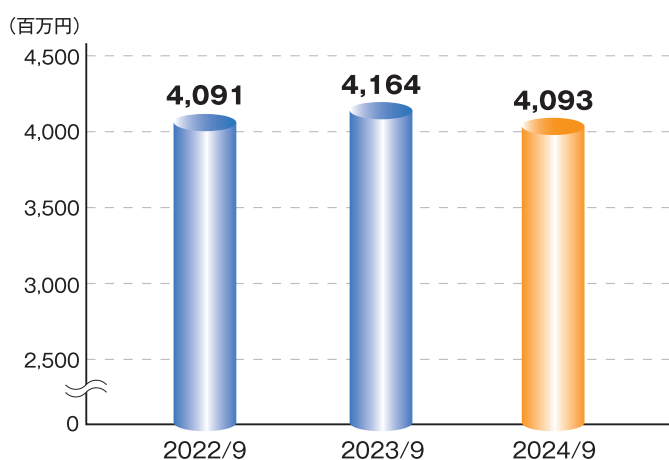
2 業績ハイライト（単体）

2024年度 中間期決算概要

■ 預貸金利益（貸出金利息－預金利息）

～貸出金利息 6年連続増加～

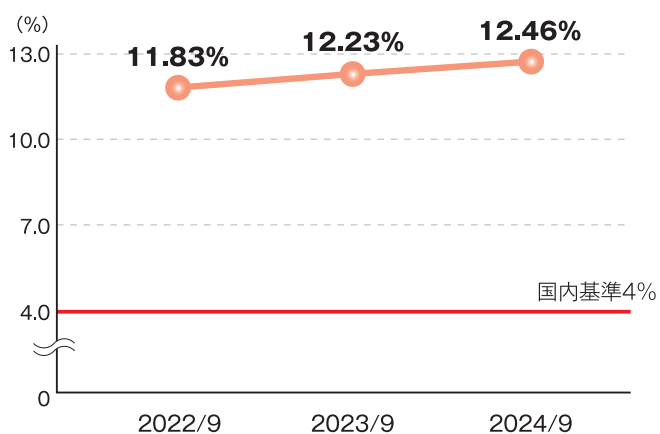
貸出金残高の着実な増加によって貸出金利息が6年連続で増加したものの、預金の増加や預金金利の引上げ等に伴う預金利息の増加により、預貸金利益は前年同期比71百万円1.7%減益の40億93百万円となりました。



■ 自己資本比率（国内基準）

～高水準の自己資本比率を堅持～

自己資本比率は12.46%と国内基準の4%を大きく上回り、高水準の自己資本比率を堅持しております。

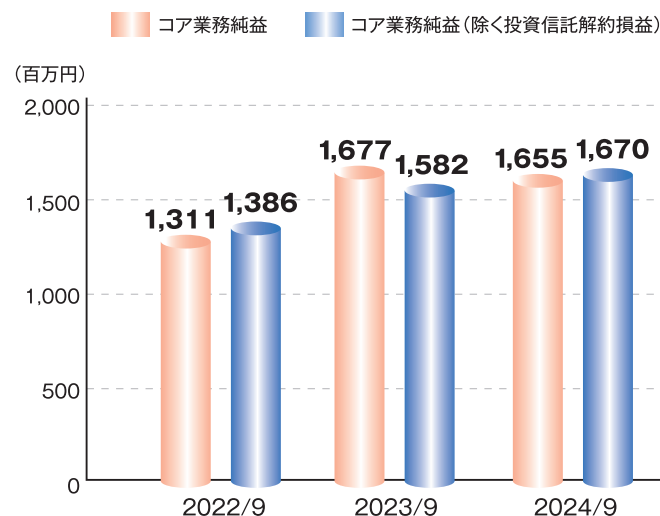


■ コア業務純益

～本業利益は着実に増加～

本業の収益力を示す投資信託解約損益を除くコア業務純益は、役務取引等利益や有価証券利息配当金が増加したこと等により、16億70百万円と堅調に推移しております。

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益



■ 不良債権の状況

～1%台 高い健全性を維持～

金融再生法開示債権およびリスク管理債権は101億78百万円となり、総与信残高に占める割合は1.63%となりました。なお、同債権の87.8%を担保等でカバーしております。

